

2023年度 お客さま本位の業務運営に関する取組状況

2024年9月



大阪信用金庫（以下、「当金庫」といいます。）は、地域金融機関として地区内産業経済の発展と地域の皆様の繁栄に寄与することを基本方針に掲げ、「この街のホームドクター」のスローガンのもと、地域の皆様と共に発展を続けてまいりました。

「この街のホームドクター」として、お客さまのあらゆるご相談にお応えするため、社会保険労務士による「年金相談」、税理士や弁護士等の専門家による「税務相談」、「経営相談」、「法律相談」、ファイナンシャルプランナーによる「ライフプラン相談」等、様々な相談業務を行っております。

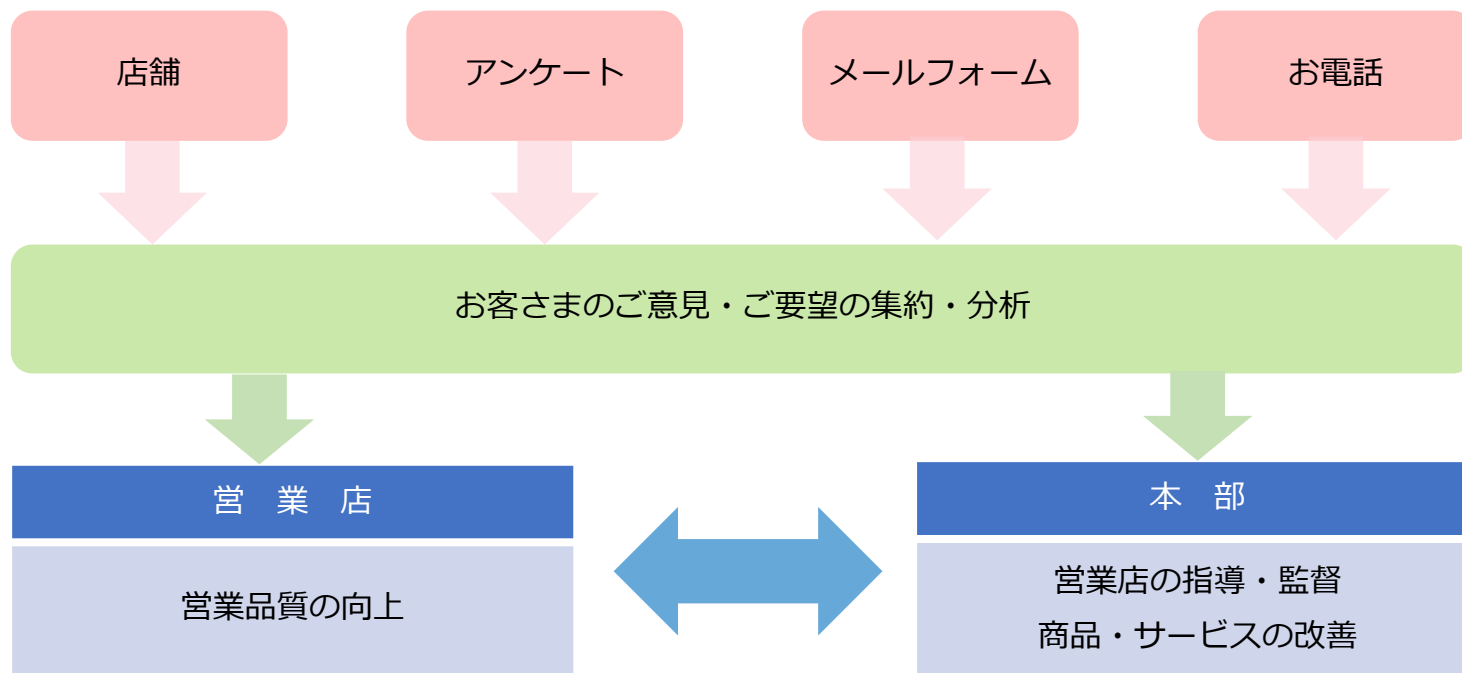
今後とも、お客さまが安心して取引できる金融機関を目指し、地域の皆様に信頼され、選ばれる信用金庫となるよう、より一層のサービスの向上に努めてまいります。



<大阪信用金庫 基本方針>

◆お客さまの声をサービスの向上につなげる取り組み

お客さまからいただいたご意見・ご要望を担当店舗・担当部署へフィードバックし、お客さまの満足度向上のための改善活動に取り組んでいます。



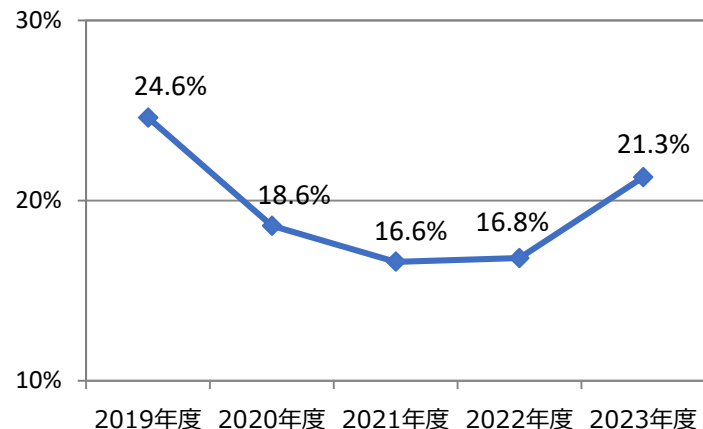
(参考) お客さまとの取引状況を示す参考指標

<投資信託の販売上位10銘柄および販売額構成比>

2023年度				
No	ファンド名	毎月分配	コア商品*	構成比率
1	ダイワ・インド株ファンド			17.5%
2	新光US-REITオープン	○		13.1%
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)			12.3%
4	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド			6.1%
5	三菱UFJライブセレクトファンド(安定成長型)		○	5.5%
6	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	○	○	4.8%
7	しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)		○	4.2%
8	しんきんインデックスファンド225			3.3%
9	しんきんS&P500インデックスファンド			3.2%
10	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	○		3.1%

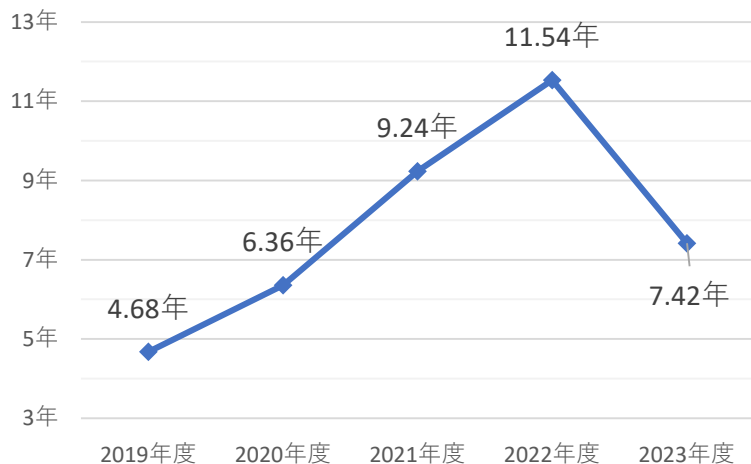
*コア商品の選定については、リスクを抑えながら資産形成に資すると期待できる商品として、バランス型や国内債券を中心として運用する投資信託の中から当金庫が独自に選定いたしました。

<投資信託全販売額に占めるコア商品販売額構成比>



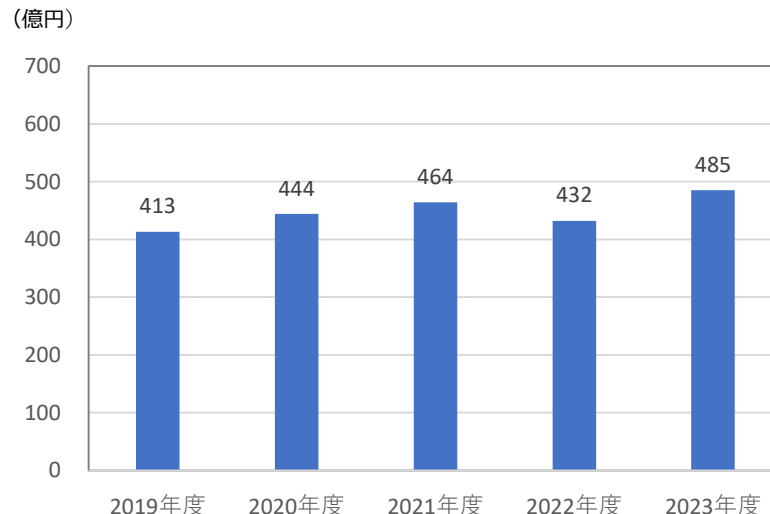
*コア商品の選定については、リスクを抑えながら資産形成に資すると期待できる商品として、バランス型や国内債券を中心として運用する投資信託の中から当金庫が独自に選定いたしました。

<投資信託の平均保有期間>



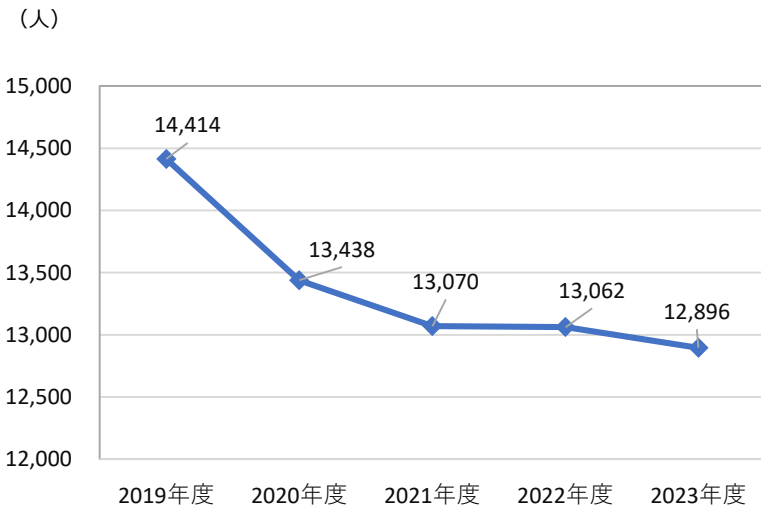
*平均保有期間は、(前年度末残高+当年度末残高)÷2÷(年間の解約額+償還額)で算出

<投資信託の残高>

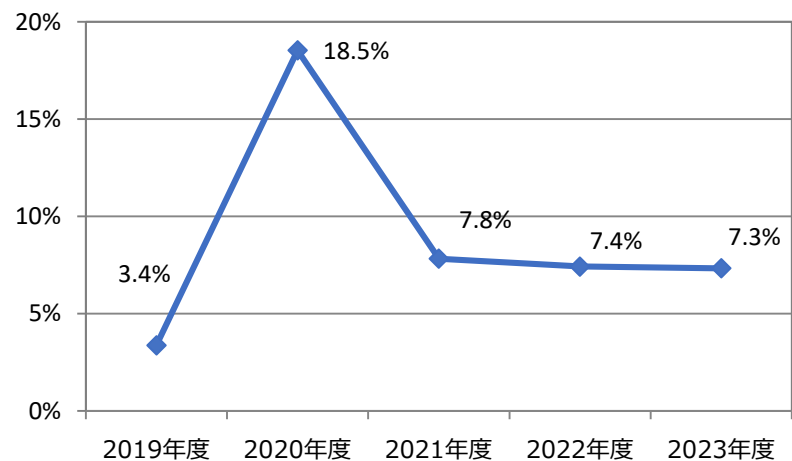


(参考) お客様との取引状況を示す参考指標

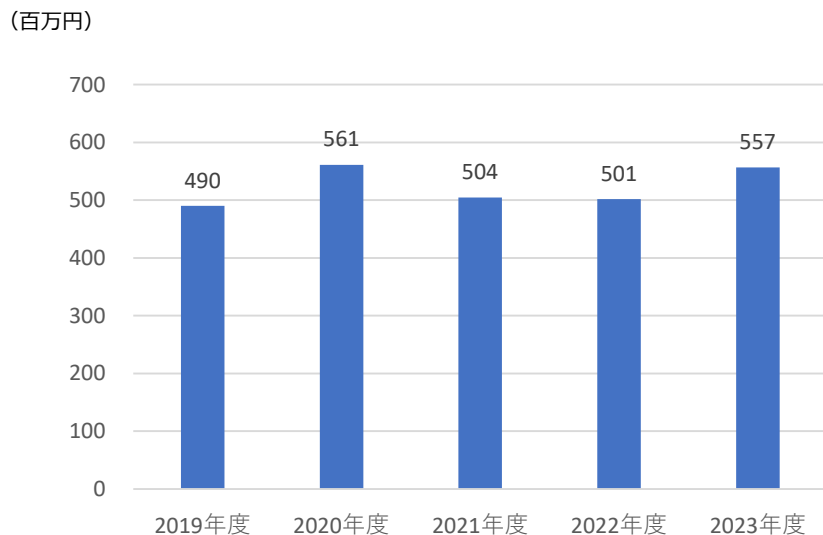
＜投資信託の残高保有口座数（個人）＞



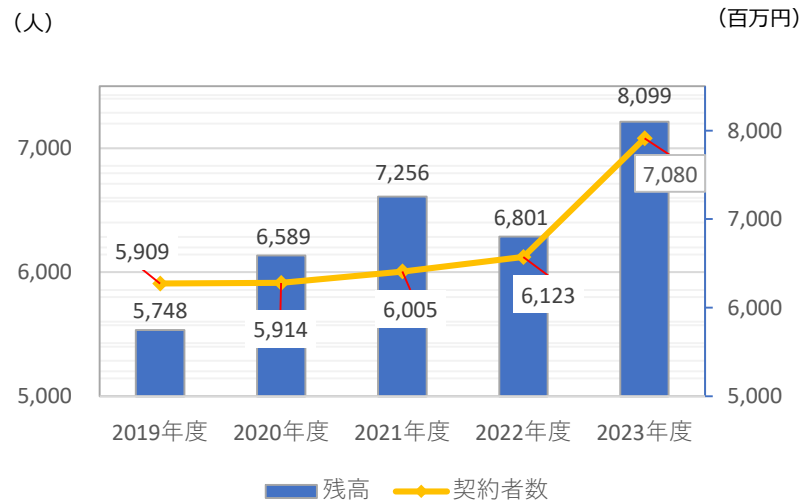
＜投資信託全販売額に占める定時定額販売額構成比＞



＜投資信託の定時定額振替金額＞



＜NISA契約者数およびNISA残高＞



利益相反の適切な管理

◆利益相反の適切な管理 【金融庁原則3】

当金庫では、お客さまと当金庫が行う取引について、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、「利益相反管理規程」を定め、営業部門から独立した管理部門による職員の教育・研修の実施、法令・庫内規則等の遵守状況のモニタリングを通じて、利益相反の適切な管理を行っております。

当金庫の「利益相反管理方針の概要」は、下記URLをご確認ください。

<https://www.osaka-shinkin.co.jp/policy/riekisouhan.html>



◆手数料等の多寡にかかわらず金融商品の提案 【金融庁原則3(注)】

当金庫は、金融商品の販売において、手数料の多寡による営業成績の差別化は行っておらず、手数料の高低がお客さまへご提案する金融商品の選択に影響を与えることはありません。

当金庫は、グループ会社が提供する金融商品の取扱いはありません。また、当金庫と投資信託の組成会社（運用会社）との間での、出向等の人的関係や資本的関係もありません。

金融商品の採用や販売に際し、特定の商品や、特定の運用会社が提供する商品に偏った商品を選択することはなく、お客さまのご意向やニーズに合った商品の選択を行っております。

◆利益相反の可能性のある場合の説明 【金融庁原則3(注)、原則5(注1)】

お客さまに販売・提案等を行う金融商品・サービスについて、お客さまとの利益相反の可能性がある場合は、その具体的な内容や取引に及ぼす影響についてご説明いたします。

手数料等の明確化

【金融庁原則4】

◆お客さまにご負担いただく手数料等の費用について

金融商品・サービスをご提供させていただく際は、お客さまにご負担いただく手数料等の費用について、パンフレットや目論見書等の説明用資料や、タブレット端末等を活用し、その手数料等がどのようなサービスの対価であるかを含め、お客さまにご理解いただけるよう、分かりやすく説明を行うよう心掛けております。

なお、手数料等の詳細については、目論見書、手数料等に関する書面、当金庫ホームページ、パンフレット等でご確認いただけます。



ファンド名	運用会社	ファンド概要	申込口数	申込日	購入価格(円)	元本割戻率(%)	元本割戻率(%)	元本割戻率(%)	元本割戻率(%)	元本割戻率(%)
パナソニック信託(信託型)	信託	この信託は、パナソニック株式(以下「パナソニック」という)の株式を運用の対象とする信託です。	1000	2022/08/25	99900	1.65%	0.924%	—	○	毎月
パナソニック信託(信託型)	信託	この信託は、パナソニック株式(以下「パナソニック」という)の株式を運用の対象とする信託です。	1000	2022/08/25	99900	1.65%	0.924%	—	○	毎月
パナソニック信託(信託型)	信託	この信託は、パナソニック株式(以下「パナソニック」という)の株式を運用の対象とする信託です。	1000	2022/08/25	99900	1.65%	0.924%	—	○	毎月
パナソニック信託(信託型)	信託	この信託は、パナソニック株式(以下「パナソニック」という)の株式を運用の対象とする信託です。	1000	2022/08/25	99900	1.65%	0.924%	—	○	毎月
パナソニック信託(信託型)	信託	この信託は、パナソニック株式(以下「パナソニック」という)の株式を運用の対象とする信託です。	1000	2022/08/25	99900	1.65%	0.924%	—	○	毎月
パナソニック信託(信託型)	信託	この信託は、パナソニック株式(以下「パナソニック」という)の株式を運用の対象とする信託です。	1000	2022/08/25	99900	1.65%	0.924%	—	○	毎月
パナソニック信託(信託型)	信託	この信託は、パナソニック株式(以下「パナソニック」という)の株式を運用の対象とする信託です。	1000	2022/08/25	99900	1.65%	0.924%	—	○	毎月
パナソニック信託(信託型)	信託	この信託は、パナソニック株式(以下「パナソニック」という)の株式を運用の対象とする信託です。	1000	2022/08/25	99900	1.65%	0.924%	—	○	毎月
パナソニック信託(信託型)	信託	この信託は、パナソニック株式(以下「パナソニック」という)の株式を運用の対象とする信託です。	1000	2022/08/25	99900	1.65%	0.924%	—	○	毎月
パナソニック信託(信託型)	信託	この信託は、パナソニック株式(以下「パナソニック」という)の株式を運用の対象とする信託です。	1000	2022/08/25	99900	1.65%	0.924%	—	○	毎月



©Know's i-land, Inc.2023

「しんきん預かり資産ナビ」の「コンサルティング営業支援ツール」は、株式会社ノースアイランドの企画・開発によるもので、著作権その他権利は同社に帰属します。

重要な情報の分かりやすい提供

◆重要な情報の分かりやすい提供 【金融庁原則5、同(注1,3,4,5)】

金融商品・サービスをご提案させていただく際は、商品の特色、リスクとリターン、各種手数料、取引に関する条件等の重要な情報を、目論見書や各種パンフレット等の資料や、タブレット端末等のシステムツールを活用し、分かりやすい言葉で丁寧に説明するよう心掛けております。

また、説明を行う際は、お客さまの知識や経験、ご提案する金融商品のリスクや複雑さ等を考慮した上で、お客さま一人一人が十分理解できるよう、丁寧に説明を行うよう心掛けております。

なお、当金庫では、仕組債やレバレッジ型などの複雑でリスクの高い商品の取扱いはありません。

◆パンフレット等の説明用資料の充実 【金融庁原則5(注4)】

お客さまに金融商品・サービス等の説明を行う際に使用するパンフレット等については、適宜見直しを行い、より分かりやすく、ご理解いただきやすい資料となるよう、随時改訂を行っております。

「投資信託ファンドラインナップ」については、投資対象ごとにカテゴリー分けし、各ファンドの概要や手数料等が一覧となっており、複数商品を比較検討しやすい資料となっております。

<重要な情報の説明用資料・金融商品の内容・制度概要等のパンフレット>



お客さまにふさわしい商品・サービスの提供

◆コンサルティング支援ツールを活用した情報の提供 【金融庁原則5(注4)、原則6(注1)】

当金庫は、キャノンマーケティングジャパン株式会社製の「しんきん預かり資産ナビ」システムを導入しており、タブレットを活用して、マーケット情報、ファンドの基本情報、複数ファンドの比較、リスクとリターン等の様々な情報を、視覚的にタイムリーに提供しております。また、様々なライフイベントごとに必要となる支出等の各種シミュレーションが可能であり、より精度の高いコンサルティングを行うことが可能です。

当金庫では、本システム等を活用しながら、お客さまの投資目的やご意向の丁寧なヒアリングを通じて、お客さまに合った金融商品・サービスのご提案と様々な情報提供を行っております。

<コンサルティング支援ツール>



「しんきん預かり資産ナビ」は、キャノンマーケティングジャパン株式会社の企画・開発によるもので、著作権その他権利は同社に帰属します。

「しんきん預かり資産ナビ」の「コンサルティング営業支援ツール」は、株式会社ノースアイランドの企画・開発によるもので、著作権その他権利は同社に帰属します。

お客さまにふさわしい商品・サービスの提供

◆商品ラインナップの整備 【金融庁原則6】

当金庫は、お客さまの多様なニーズにお応えできるよう、商品ラインナップの充実に努めております。2023年度は新NISA開始に伴う商品の大幅な見直しを行い、新NISA対象商品15ファンドを新たに追加いたしました。

投資信託の商品選定にあたっては、お客さまの安定的な資産形成に資するため、中長期的に成長が期待できると考えられる銘柄、また、お客さまの属性や投資目的、リスク許容度等に合わせて幅広い選択肢のご提供が可能となるよう、リスクとリターンの大小、投資地域、投資対象（株、債券、不動産投資信託、バランス型、その他資産等）等の異なる商品をバランスよく取り揃えるよう努めております。

今後とも、お客さまの多様なニーズにお応えできるよう、適宜ラインナップの充実に努めてまいります。

<投資信託の商品ラインナップ>

主な投資対象		取扱商品数	構成比
債券	国内外	2	3.1%
	海外	5	7.8%
	小計	7	10.9%
株式	国内	13	20.3%
	国内外	8	12.5%
	海外	18	28.1%
	小計	39	60.9%
不動産投資信託	国内	2	3.1%
	国内外	2	3.1%
	海外	2	3.1%
	小計	6	9.4%
バランス型		10	15.6%
その他資産		2	3.1%
合計		64	100.0%

(2024年3月末現在)

◆専門知識を有する職員による販売体制 【金融庁原則6】

当金庫では、お客さまに最適な金融商品・サービスのご提案を行うため、投資信託の販売は、専門の研修を修了した「投資信託アドバイザー」のみが行えることとしております。また、「投資信託アドバイザー」に対しては、専門的な研修を定期的に行い、投資信託の販売にかかるルールの確認、経済動向や商品知識の習得、お客さまへのコンサルティング能力の向上に努めております。

お客さまにふさわしい商品・サービスの提供

◆お客さまのニーズに合った最適な商品のご提案 【金融庁原則6、同(注1)】

金融商品を販売する際は、お取引の都度、「顧客カード」により、お客さまの属性、知識、経験、資産状況、契約の目的等を確認させていただき、お客さまの中・長期的なライフプラン等を踏まえた、お客さま一人一人に最適な商品をご提案するよう努めております。

ご提案にあたっては、以下の点に留意しております。

- 商品ラインナップ表やタブレット端末等を活用し、類似商品を比較しながらご提案しております。
- お客さまの契約目的や資産状況、安全資産とリスク資産の割合から、過度な投資とならないよう、お客さまに適したリスク資産比率等を検討しながら販売しております。また、販売後のモニタリングの実施により、適切な販売であったかの検証を行う体制を整備しております。
- お客さまの安定的な資産形成に資するため、定時定額購入を活用した、長期分散投資を推奨しております。

◆商品組成会社が販売対象として想定する顧客属性の取扱い 【金融庁原則6(注3)】

取扱商品に関する「商品組成会社（投資信託の運用会社等）が販売対象として想定する顧客属性」と当金庫のリスク分類との整合性等を検証のうえ、必要と思われる場合に随時情報提供してまいります。

※現在、そのような情報提供が必要と考えられる商品の取扱いはありません。

※当金庫は金融商品の組成に携わる金融事業者には該当いたしません。

お客さまにふさわしい商品・サービスの提供

◆パッケージ化された商品のご提案について 【金融庁原則 5(注2)、原則 6(注2)】

複数の金融商品を組み合わせた商品（パッケージ商品）のご提案を行う際は、組み入れられた金融商品を個別に購入する場合との比較ができるよう、それぞれの金融商品について、手数料等の重要な情報を分かりやすくご提供するよう努め、当該パッケージ商品がお客さまに適した金融商品であるか留意しながらご提案いたします。

※現在、パッケージ化された金融商品・サービスの取扱いはありません。

◆お客さまの属性に合わせた販売 【金融庁原則 6(注4)】

金融商品の販売に際しては、高齢のお客さまや、知識・経験が十分でないお客さま等、お客さまの属性や知識・経験等により、より慎重な販売を行うためのルールの設定や販売後にモニタリングを実施し、販売の適切性をチェックしております。

◆定期的なアフターフォローの実施 【金融庁原則 6(注1)】

当金庫は、金融商品・サービスの販売後においても、経済情勢や、お客さまのライフプランの変化等に応じて、金融商品・サービスの見直しや、資産配分の変更等のアドバイスを行うとともに、保有商品の状況や市場動向の説明等のフォローアップを行っております。

また、半年毎にアフターフォロー強化期間を設定し、投資信託を一定額以上保有していただいているお客さまに対し、お電話やご訪問によるご説明、郵便物を送付させていただく等のアフターフォローを実施しております。

◆パンフレットやホームページを活用した情報提供

金融取引に関する基本的な制度概要や金融商品の仕組みについて、分かりやすく記載したパンフレットをご用意しております。

また、ホームページを活用した情報提供の充実に努めており、投資信託取扱商品の情報提供用ページである「取扱商品・基準価額一覧」（提供：時事通信社）のページでは、インターネット販売専用ファンドを含む、全ファンドの基準価額、分配金実績、累積リターン、月次レポートなどの最新の情報がご確認いただけます。

「取扱商品・基準価額一覧」（提供：時事通信社）

http://t2.jiji.com/linkbox?userID=osaka-sk_v2



◆金融教室の開催

金融教室の重要性が高まるなか、小・中学生への金融教育支援を目的に、小・中学校に講師を派遣して「金融教室」を開催しております。2023年度は、31校の小・中学校で開催させていただきました。



◆ライフプラン相談会の開催

ファイナンシャルプランナーによるライフプラン相談会を開催し、相続、贈与、老後の生活設計、認知症対策、資産運用等の様々なご相談に対応させていただきました。

役職員に対する教育・意識づけ

◆役職員の資質の向上に向けた取組み 【金融庁原則7】

- 職員のレベルアップを図るため、新たに証券会社出身のシニアアドバイザー3名を採用し、投資信託販売員の育成・研修体制の充実を図りました。
- いつでも視聴可能な研修用動画コンテンツの充実を図っており、全役職員が自らスキルアップできる環境を整備しております。また、お客さまのライフイベントごとに的確な情報提供が可能となるよう、ファイナンシャルプランナーの資格取得を積極的に奨励し、専門的知識の習得とコンサルティング能力の向上に努めております。
- 本部の各部門の担当者が営業店を巡回し、各営業店の業務の支援や職員の指導、適切な業務の実施状況の検証等を適宜行っております。

◆業績評価体系の整備 【金融庁原則7(注)】

当金庫では手数料収入に偏った業績評価や報酬体系を設定しておりません。お客さまの資産形成を促進することを目的とし、預かり資産の増加を重要な指標と捉え、活動しております。また、不適切な販売等があった場合の、成績除外制度や罰則規定等を厳しく設定し、再発防止を図るとともに、役職員が適切に業務を行うための動機づけの枠組みを構築しております。

投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

2018年6月に金融庁は、各金融機関の比較が容易にできるよう、比較可能な共通 K P I として、下記の3つの指標を公表しました。これを踏まえ、当金庫においても、お客さまへの参考指標として共通 K P I を公表してまいります。

◆運用損益別顧客比率

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。この指標により、個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているかを見ることができます。

ただし、すでに全部売却済商品の数値は含まれておりません。

◆投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄ごとおよび預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。中長期的にどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

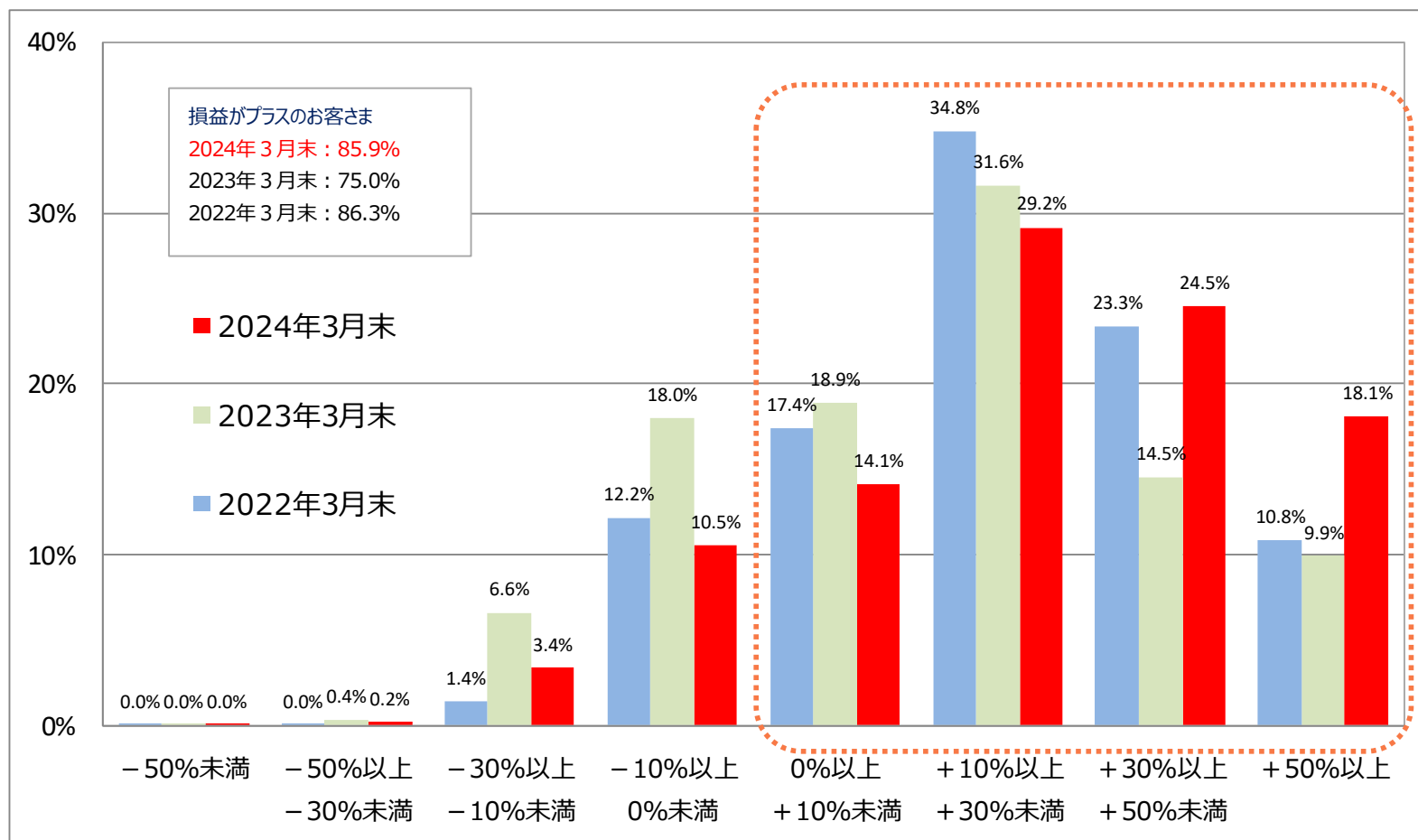
◆投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄ごとおよび預り残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。中長期的にどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

<運用損益別顧客比率>

2024年3月末時点の投資信託を保有されている個人のお客さまの運用損益は、85.9%のお客さまがプラスとなりました。



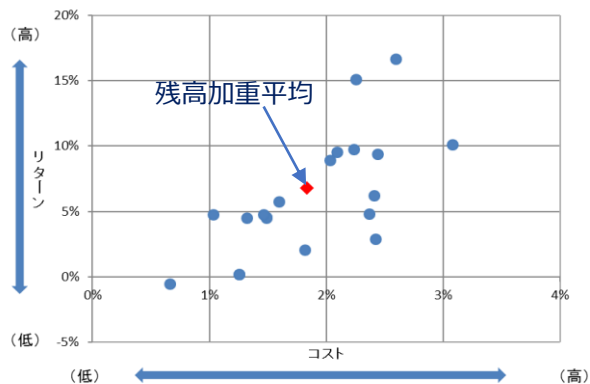
※個人のお客さまについて集計しています。

投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

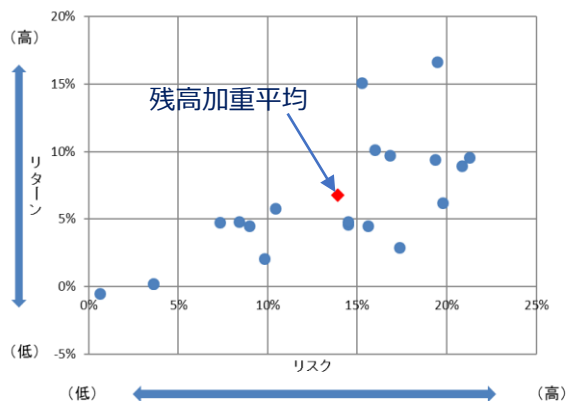
2022年3月末

<投資信託の預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン>

残高上位20ファンドの平均コストは1.83%、平均リターンは6.78%、平均リスクは13.90%でした。



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.83%	6.78%



残高加重平均値	リスク	リターン
	13.90%	6.78%

<投資信託預かり残高上位20銘柄（設定後5年以上）>

No	ファンド名	リスク※1	リターン※2	コスト※3
1	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	14.50%	4.59%	1.49%
2	新光US-REITオープン	16.83%	9.74%	2.23%
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	19.45%	16.64%	2.60%
4	しんきんグローバル6資産ファンド（毎月決算型）	10.41%	5.77%	1.60%
5	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	8.99%	4.51%	1.49%
6	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	3.60%	0.20%	1.25%
7	三井住友・グローバル・リート・オープン	19.75%	6.20%	2.41%
8	しんきん公共債ファンド	0.63%	-0.50%	0.66%
9	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	9.80%	2.08%	1.82%
10	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	3.60%	0.21%	1.25%
11	三井住友・米国ハイ・イールド債券ファンド（為替ノーヘッジ型）	8.39%	4.81%	2.37%
12	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	15.96%	10.14%	3.08%
13	女性活躍応援ファンド	20.83%	8.94%	2.04%
14	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	17.37%	2.89%	2.42%
15	ワールド・インフラ好配当株式ファンド（毎月決算型）	19.35%	9.41%	2.44%
16	しんきん好配当利回り株ファンド（3ヵ月決算型）	15.58%	4.52%	1.32%
17	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	21.27%	9.54%	2.09%
18	しんきんJリートオープン（1年決算型）	14.47%	4.78%	1.46%
19	米国連続増配成長株オープン	15.24%	15.09%	2.26%
20	三菱UFJライフセレクトファンド（安定成長型）	7.31%	4.77%	1.03%
	残高加重平均値	13.90%	6.78%	1.83%

※1：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

※2：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

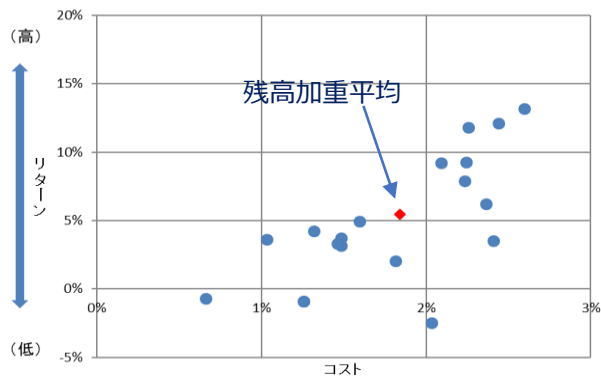
※3：購入時手数料率（消費税込み）の1/5と信託報酬率（同左）の合計値

投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

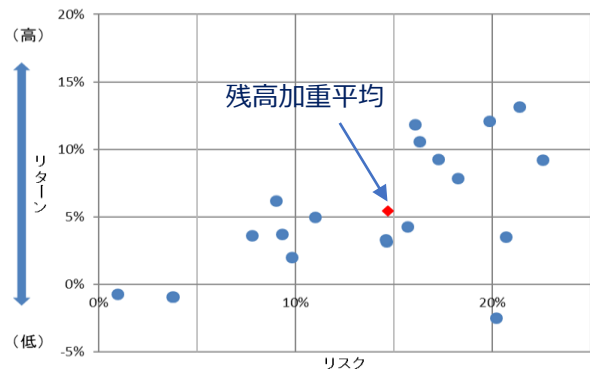
2023年3月末

<投資信託の預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン>

残高上位20ファンドの平均コストは1.84%、平均リターンは5.46%、平均リスクは14.68%でした。



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.84%	5.46%



残高加重平均値	リスク	リターン
	14.68%	5.46%

<投資信託預かり残高上位20銘柄（設定後5年以上）>

No	ファンド名	リスク※1	リターン※2	コスト※3
1	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	14.60%	3.17%	1.49%
2	新光US-REITオープン	18.22%	7.87%	2.23%
3	グローバル・ロパティクス株式ファンド（年2回決算型）	21.36%	13.17%	2.60%
4	しんきんグローバル6資産ファンド（毎月決算型）	11.00%	4.97%	1.60%
5	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	9.31%	3.74%	1.49%
6	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	3.76%	-0.90%	1.25%
7	三井住友・グローバル・リート・オープン	20.68%	3.52%	2.41%
8	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	9.79%	2.03%	1.82%
9	しんきん公共債ファンド	0.95%	-0.72%	0.66%
10	AI（人工知能）活用型世界株ファンド	17.25%	9.27%	2.24%
11	三井住友・米国ハイ・イールド債券ファンド（為替ノーヘッジ型）	9.02%	6.20%	2.37%
12	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	16.30%	10.59%	3.08%
13	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	3.76%	-0.89%	1.25%
14	女性活躍応援ファンド	20.19%	-2.50%	2.04%
15	しんきん好配当利回り株ファンド（3ヵ月決算型）	15.67%	4.26%	1.32%
16	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	22.56%	9.24%	2.09%
17	三菱UFJライフセレクトファンド（安定成長型）	7.77%	3.61%	1.03%
18	ワールド・インフラ好配当株式ファンド（毎月決算型）	19.83%	12.10%	2.44%
19	米国連続増配成長株オープン	16.07%	11.83%	2.26%
20	しんきんJリートオープン（1年決算型）	14.58%	3.32%	1.46%
	残高加重平均値	14.68%	5.46%	1.84%

※1：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

※2：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

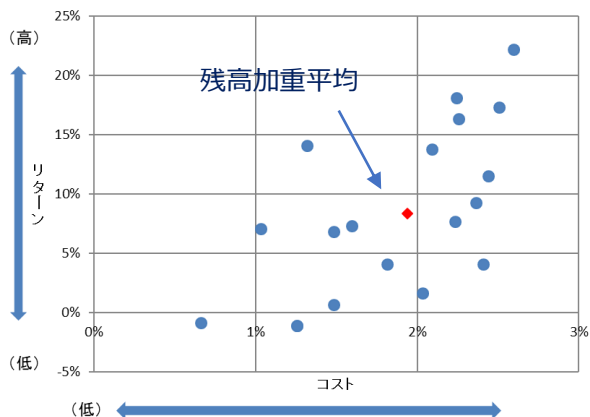
※3：購入時手数料率（消費税込み）の1/5と信託報酬率（同左）の合計値

投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I

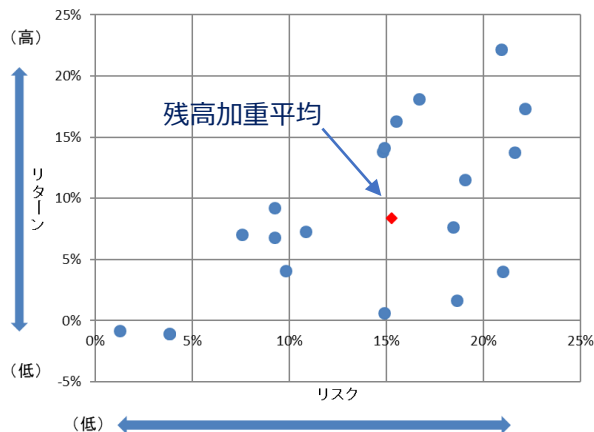
2024年3月末

<投資信託の預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン>

残高上位20ファンドの平均コストは1.94%、平均リターンは8.37%、平均リスクは15.28%でした。



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.94%	8.37%



残高加重平均値	リスク	リターン
	15.28%	8.37%

<投資信託預かり残高上位20銘柄（設定後5年以上）>

No	ファンド名	リスク ^{※1}	リターン ^{※2}	コスト ^{※3}
1	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	14.90%	0.65%	1.49%
2	新光 US-REIT オープン	18.42%	7.66%	2.23%
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	20.90%	22.18%	2.60%
4	しんきんグローバル6資産ファンド（毎月決算型）	10.84%	7.30%	1.60%
5	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）	9.24%	6.82%	1.49%
6	ダイワ・インド株ファンド	22.13%	17.34%	2.51%
7	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	3.81%	-1.10%	1.25%
8	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	9.80%	4.08%	1.82%
9	三井住友・グローバル・リート・オープン	21.00%	4.04%	2.41%
10	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	14.82%	13.85%	3.08%
11	A I（人工知能）活用型世界株ファンド	16.66%	18.13%	2.24%
12	しんきん公共債ファンド	1.28%	-0.85%	0.66%
13	三菱UFJ ライフセレクトファンド（安定成長型）	7.56%	7.07%	1.03%
14	三井住友・米国ハイ・イールド債券ファンド（為替ノーヘッジ型）	9.23%	9.23%	2.37%
15	しんきん好配当利回り株ファンド（3ヵ月決算型）	14.89%	14.10%	1.32%
16	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	3.81%	-1.09%	1.25%
17	米国連続増配成長株オープン	15.47%	16.30%	2.26%
18	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	21.59%	13.74%	2.09%
19	女性活躍応援ファンド	18.61%	1.64%	2.04%
20	ワールド・インフラ好配当株式ファンド（毎月決算型）	19.03%	11.54%	2.44%
	残高加重平均値	15.28%	8.37%	1.94%

※1：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

※2：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

※3：購入時手数料率（消費税込み）の1/5と信託報酬率（同左）の合計値